

新しいプレゼンテーションスタイルを実現する 「電子黒板機能」付き超短投写プロジェクター「CP-AW2519NJ」を発売



CP-AW2519NJ



インタラクティブペン
(同梱品)



使用イメージ

日立コンシューマエレクトロニクス株式会社(取締役社長:渡邊修徳/以下、日立)は、壁などの投写画面上にインタラクティブペンで直接書き込みができる「電子黒板機能」付き超短投写プロジェクター「CP-AW2519NJ」を2月上旬より国内で発売します。

■型式および概略仕様

| 型式 | 概略仕様 | 本体希望小売価格 | 発売日 |
|-------------|---|----------|-----------|
| CP-AW2519NJ | <ul style="list-style-type: none">・ミラー反射型超短投写・電子黒板機能付き・インタラクティブペン同梱・StarBoard® Software 同梱・WXGA リアル対応・2500 ルーメン・質量:約 4.1 kg | オープン価格 | 2012年2月上旬 |

日立は2011年4月、独自の光学系の採用により業界最小・最軽量*1を実現した超短投写プロジェクター「CP-AW250NJ」を国内向けに発表しました。この機種は会議室・教室間の持ち運びや設置性に優れ、大型モニターなどに比べ省スペースであることや、片付けも容易に行えること等が評価され、企業・学校などで好評を得ています。これをベースに、机上投写が可能になるなど改良を加えた機種「CP-AW251NJ」を2011年11月に発表しました。

このたび発表する「CP-AW2519NJ」は、この「CP-AW251NJ」に「電子黒板機能」を新たに搭載したモデルで、「電子黒板機能」付きプロジェクターとして業界最小・最軽量*2を実現しています。

「電子黒板機能」とは、プロジェクターから投写した画面上で直接、付属のインタラクティブペンを用いて文字や図形の手書き入力やパソコン操作を行ったり、書き加えた画面をパソコンに保存するなど、インタラクティブ*3な操作ができる機能です。「電子黒板機能」用ソフトウェアとして使いやすさを追及した「StarBoard® Software*4」を採用しており、壁や黒板など投写できる平面さえあれば、導入コストを抑えながら簡単に、「電子黒板機能付きホワイトボード*5」としての機能を実現できます。投写画面上で動きのあるプレゼンテーションをすることで、会議や授業などの際、聞き手の集中力を高め、理解を深めることが期待できます。

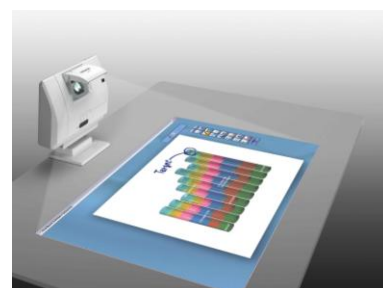
また、別売の「机上投写スタンド」と組み合わせることで、机上への 60 型の映像投写を実現しました。これにより、映像をさまざまな角度から見ながら討議するなど、より自由なミーティングスタイルが可能となりました。従来通り、据置き使用による壁やスクリーンへの投写もできるほか、専用の金具を使えば、天吊りや壁面に取り付けての使用もできるので、目的や環境に合わせて壁面、卓上(据置き)、机上縦置きを設置方法を選べます。



壁面投写



卓上投写



机上投写

さらに、従来機種で好評の大音量 10W スピーカーを引き続き内蔵しており、迫力の音声を再生します。マイク端子にマイクをつなげば発表者の声も内蔵スピーカーを通して拡声でき、プレゼンテーションや授業が一層快適になります。

HDMI®端子も搭載しており、DVD プレーヤーなどの AV 機器とケーブル一本で簡単に接続できるとともに、高画質・高音質での再生が可能です。

そのほか、複数台のプロジェクターを一括管理できる「ネットワーク機能」、画面の歪み補正を簡単に行える「コーナーフिट機能」、頻繁なフィルター清掃が不要な日立独自の「ハイブリッドフィルター」、リモコン・本体操作パネルの日本語表記など、使いやすさを追及した機能も引き続き搭載しています。

スマートフォンなど新しい機能を持つ端末の普及もあり、画面上でのタッチ操作がビジネスや教育の現場でもより身近になっています。このような背景のもと、日立は海外に続き国内でも「電子黒板機能」付きというプロジェクターのカテゴリーを提案し、展開していきます。

*1 業界最小・最軽量: 2011 年 4 月、「CP-AW250NJ」発表時点において、日立調べ。

*2 「電子黒板機能」付きプロジェクターとして業界最小・最軽量: 2012 年 1 月 10 日現在、日立調べ。

*3 インタラクティブ: 双方向。コンピューターなどの機器と対話する形で操作・作業を進めていく。

*4 StarBoard Software: 株式会社日立ソリューションズのソフトウェアです。

*5 「電子黒板機能付きホワイトボード」: パソコン画面を専用のボードに投写し、指や専用ペンなどを使って直接ボード上への書き込みやパソコン操作ができるもの。

■他社商標注記

- ・WXGA は、米国 IBM corporation の登録商標です。
- ・HDMI、HDMI ロゴ及びHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標又は登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■日立液晶プロジェクターホームページ(日本国内)

URL:<http://www.hitachi.co.jp/proj/>

以 上

■ CP-AW2519NJ の主な特長

1. 電子黒板機能

プロジェクターとパソコンを用意するだけで、付属のインタラクティブペンを使って投写画面上へ直接、文字や図形を書き込むことができます。また、書き込んだ内容を保存することも可能です。



使用例(イメージ図)

2. 業界最小・最軽量

重さ約 4.1kg と、電子黒板機能付きプロジェクターとして、業界最小・最軽量を実現しています。会議室・教室間の持ち運びや片付けも容易です。日立の最初の超短投写モデル「CP-A100J」と比較して、本体サイズが容積約 4 割減、質量約 3 割減となり、設置の際にも圧迫感がありません。

3. スクリーンから本体前面まで約 26cm*1

日立が独自に開発した自由曲面レンズ・ミラー*3をプロジェクターの投写光学系に採用することで、スクリーンから本体前面までが約 26cm という近い距離から 80 型の大画面表示を可能にしました。

*1 約 26cm: スクリーンからミラーまでは約 56cm

*2 自由曲面レンズ・ミラー: 非球面光学技術に対して光学設計の自由度が 5 倍(当社比)となる「自由曲面光学技術」を用いたレンズおよびミラー。

4. 画面の湾曲も補正可能な「コーナーフィット機能」搭載

投写画面の 4 コーナーの位置と 4 辺の湾曲を、リモコンを使って調整できるので、投写面が多少歪んでいても補整が簡単です。また、ズームとフォーカスも電動なので、手元のリモコン一つで画面の微調整が可能です。



5. 目的や環境に合わせた投写方法

「机上投写スタンド」(型式:TT-251、別売)と組み合わせることで、机上への60型の映像投写を実現しました。これにより、映像をさまざまな角度から見ながら討議するなど、より自由なミーティングスタイルが可能となりました。

従来通り、据置き使用による壁やスクリーンへの投写もできるほか、別売の「天吊り金具」や「壁面取り付け金具」を用いた投写もできるので、目的や環境に合わせた設置方法を選べます。

天吊りが難しい設置環境でも使用できる「壁面取り付け金具」は、6軸調整機構*3を備えているため、画面の位置やサイズの微調整が容易になりました。プロジェクター本体と一体感のあるデザインです。



壁面投写

卓上投写

机上投写

*3 6軸調整機構: 前後・左右・上下方向と、その各軸の回転方向がそれぞれ調整できる機構

6. 10W 大音量スピーカーとマイク用端子を搭載

従来機種で好評の大音量 10W スピーカーをプロジェクターに内蔵しているため、迫力のある音声再生が可能となり、会議室や教室の後ろの席でも、音声を鮮明に聞き取れます。

マイク端子にマイクをつなげば、発表者の声を内蔵スピーカーで拡声できます。ざわついた場所でも、聞く側はもちろん、発表者にとっても快適なプレゼンテーションを実現します。なお、プロジェクターがスタンバイ状態でもマイク音声の出力は可能です。(省電力モード設定時は除く)

7. HDMI®端子搭載で、AV機器と簡単接続

HDMI端子を搭載しているため、DVDプレーヤーなどのAV機器とケーブル一本ですっきりと簡単にデジタル接続できるとともに、高画質の映像と高音質の音声を再生できます。



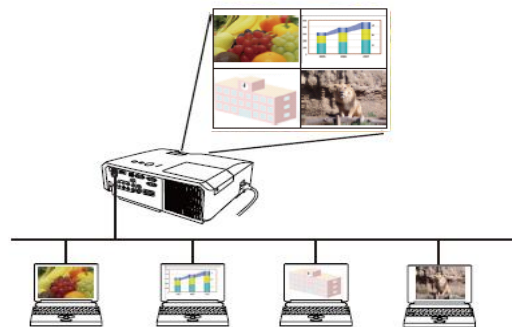
HDMI 端子

8. 「ネットワーク機能」搭載、一括管理やネットワーク経由の投写も可能

プロジェクターとパソコンを有線LAN接続し、複数台のプロジェクターの設定状態や稼動状況などを1台のパソコンで管理でき、また遠隔での操作ができます。

電源ON/OFFや画質調整など、リモコンと同じ操作がパソコンから行えます。ランプ交換が必要な場合やエラー検出した場合には、指定したEメールアドレスへ通知することもできます。

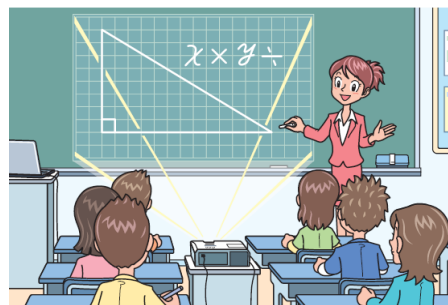
また、ネットワークを介して映像を投写することができ、その都度信号ケーブルをつなぎかえるわずらわしさを解消します。最大4台のパソコン画面を同時に投写できるので、会議や授業をより効果的に行うことができます。



ネットワークプレゼンテーションのイメージ

9. 使いやすい「テンプレート機能」搭載

罫線、地図、円グラフなどの豊富なテンプレート画像をプロジェクター本体にあらかじめ内蔵。パソコンなどの入力機器を接続せずに、プロジェクター単体でテンプレート画像を黒板やホワイトボードへ投写できます。文章や図・グラフなどをテンプレートに沿って、容易に、よりきれいに描くことができます。



テンプレート機能

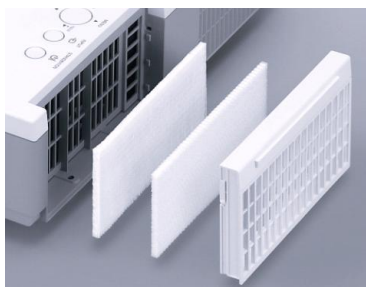
10. 「PCレスプレゼンテーション機能」搭載

画像*4を保存したUSBメモリーをプロジェクターに接続すれば、パソコンを用意しなくても、その画像をダイレクトに投写することができます。

*4 画像: 対応ファイル形式 JPEG(.jpeg,.jpg), BITMAP(.bmp), PNG(.png), GIF(.gif)

11. 「ハイブリッドフィルター」採用でメンテナンス性向上

吸気部に日立独自のハイブリッドフィルターを採用。2種類の静電エアフィルターを使用することで、フィルターの清掃間隔 4000 時間*5を実現しています。頻繁な清掃が不要なので、メンテナンスの手間が大幅に軽減されます。

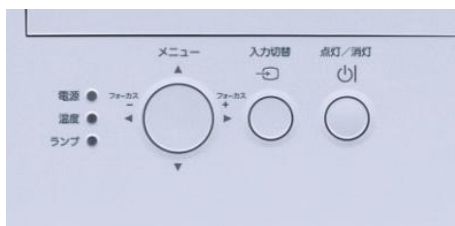


ハイブリッドフィルター

*5 清掃間隔 4000 時間: JIS 粉塵使用時の弊社塵埃試験結果による。実際の清掃間隔は使用環境により異なります。

12. リモコン・本体操作パネルに日本語表記を採用

リモコン及び本体操作パネルをすべて日本語表記にすることで、わかりやすさと操作性の向上を図りました。



本体操作パネル

13. 「グリーン購入法」*6適合

「CP-AW2519NJ」は、「グリーン購入法」に適合した製品です。

*6 グリーン購入法: 正式名称「国等による環境物品等の調達に関する法律」。国、独立行政法人等および地方公共団体に環境への負荷の少ない製品やサービスを優先的に購入することを義務づける法律です。

■主な仕様

【CP-AW2519NJ】

| 型式 | CP-AW2519NJ |
|-------------|--|
| 電子黒板機能 | インタラクティブペンによるシングルタッチ |
| 投写方式 | ミラー反射型 |
| 表示方式 | 3原色透過型液晶シャッター方式(3LCD方式) |
| 液晶パネル | 0.59型×3枚 1,024,000画素 水平 1,280×垂直 800 (WXGA) |
| 有効光束*(明るさ) | 2,500ルーメン |
| 光源ランプ | 210W |
| ズーム | デジタルズーム(1.35倍) |
| フォーカス | 電動フォーカス |
| 画面台形歪み補正 | 垂直・水平、コーナーフィット |
| スピーカー | 10W(モノラル) |
| コンピューター入力端子 | Dサブ15ピンミニ×2系統 |
| デジタル入力端子 | HDMI(HDCP対応)×1系統 |
| モニタ出力端子 | Dサブ15ピンミニ×1系統 |
| ビデオ入力端子 | ビデオ : RCA×1系統 S-ビデオ : ミニDIN4ピン×1系統 |
| 音声入力端子 | RCA(L/R)×1系統 ステレオミニ×2系統 モノラルミニ(マイク用)×1系統 |
| 音声出力端子 | RCA(L/R)×1系統 |
| コントロール信号端子 | RS-232C(Dサブ9ピン)×1系統 |
| 有線LAN | RJ45×1系統 |
| USB | USB-A×1系統(PCレスプレゼンテーション用) USB-B×1系統(USBディスプレイ用) |
| 電源 | AC100V(50 / 60Hz) |
| 消費電力 | 310W |
| 外形寸法 | 幅 345mm×高さ 102mm×奥行 303mm(突起部含まず) |
| 質量 | 約 4.1 kg |
| 内装付属品 | リモコン、電源コード(4.5m)、電源アダプタ、コンピューターケーブル(5m)、USBケーブル(5m)、インタラクティブペン、ペン先(交換用)、単3形乾電池x2個(リモコン用)、単4形乾電池x2個(インタラクティブペン用)、アプリケーションDVD(Starboard Software)、アプリケーションCD、ケーブルカバー、取扱説明書、保証書 |

* 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
